

2023年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月12日

上 場 会 社 名 株式会社カンセキ

上場取引所

=

コード番号 9903

(氏名) 大田垣 一郎

URL https://www.kanseki.co.jp

代 表 者 (役職名) 代表取締役社長

執行役員 経理部長

(氏名) 熊澤 達郎

(TEL) 028-659-3112

四半期報告書提出予定日

問合せ先責任者

2022年10月13日

配当支払開始予定日

2022年11月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(役職名)

文払開始予定日 2022年11月

1. 2023年2月期第2四半期の連結業績(2022年3月1日~2022年8月31日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| (100,000,000,000,000,000,000,000,000,000 | | | | | | A1. 11 WAA 1 1 | | |
|--|---------|------|--------|-------|--------|----------------|----------------|-------|
| | 売上高 | 盲 | 営業利 | 益 | 経常利 | 益 | 親会社株主 する四半期 | |
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年2月期第2四半期 | 19, 223 | _ | 874 | _ | 848 | _ | 525 | _ |
| 2022年2月期第2四半期 | 19, 967 | △2.4 | 1, 290 | △18.7 | 1, 265 | △17. 2 | 851 | △9. 7 |

(注)包括利益 2023年2月期第2四半期

485百万円(-%) 2022年2月期第2四半期

1,281百万円(△1.7%)

(百万円未満切捨て)

| | 1 株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|------------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円銭 |
| 2023年2月期第2四半期 | 74. 64 | 74. 30 |
| 2022年2月期第2四半期 | 122. 58 | 121. 16 |

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2023年2月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年2月期第2四半期 | 28, 885 | 11, 073 | 38. 2 |
| 2022年2月期 | 27, 552 | 9, 782 | 35. 4 |

(参考) 自己資本 2023年2月期第2四半期 11,038百万円

2022年2月期 9,752百万円

2. 配当の状況

| | | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|--|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | |
| 2022年2月期 | _ | 12. 00 | _ | 12. 00 | 24. 00 | |
| 2023年2月期 | _ | 12. 00 | | | | |
| 2023年2月期(予想) | | | | 12. 00 | 24. 00 | |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年2月期の連結業績予想(2022年3月1日~2023年2月28日)

2022年9月22日公表の「連結子会社の事業譲渡及び特別利益の計上並びに連結子会社2社の吸収合併(簡易合併・略式合併)に関するお知らせ」に記載のとおり、当社は2023年2月期期末決算より「非連結会社」になることに伴い、2022年2月期の業績予想を連結業績予想から個別業績予想へ移行しております。

詳細は添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想など将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.10「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

③ 会計上の見積りの変更

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| 2023年2月期2Q | 8, 050, 000株 | 2022年2月期 | 8, 050, 000株 |
|------------|--------------|------------|--------------|
| 2023年2月期2Q | 593, 922株 | 2022年2月期 | 1, 100, 422株 |
| 2023年2月期2Q | 7, 045, 923株 | 2022年2月期2Q | 6, 949, 487株 |

: 無

- ※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| 1. | 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
|------|--------------------------|----|
| (1) | 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) |) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) | 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. [| 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) | 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) | 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| | 四半期連結損益計算書 | 7 |
| | 四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) | 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) | 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| | (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| | (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| | (会計方針の変更) | 10 |
| | (追加情報) | 11 |
| | (セグメント情報等) | 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年3月1日から2022年8月31日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症再拡大、原材料費・エネルギー価格の高騰や急速な円安の進行等の影響により、依然として先行きは不透明な状況にあります。

この様な中、当社グループは、お客様・お取引先様・従業員の新型コロナウイルス感染防止対策を図りながら 地域のお客様の「生活の快適創造」に繋げる体制づくりを推進してまいりました。

営業面では、新型コロナ対策商品や巣ごもり需要といわれた商品群の消費動向がひと段落しながらも、ペット 用品、植物・園芸関連商品やフィッシングやウェアーなどのアウトドア用品、業務スーパーが提供するお買い得な食品などの売上が堅調に推移いたしました。

また、当社は7月12日にDCM株式会社及びその親会社であるDCMホールディングス株式会社との資本業務 提携契約を締結しました。これによりDCMグループのプライベート・ブランドの商品供給力と店舗運営技術力 に、自社独自のノウハウを加えた効果により収益の改善が期待されることから、その実現に向けた取組を開始し ております。

設備および経費面では、「業務スーパーインターパーク店(栃木県宇都宮市)」を2022年4月に出店した他、「WILD-1入間店(埼玉県入間市)」及び「WILD-1イオンモールつくば店(茨城県つくば市)」の改装を6月に実施したことや、エネルギー価格の高騰や急速な円安等の影響による電気料金の値上げにより経費増加となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は192億23百万円、営業利益は8億74百万円、経常利益は8億48百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億25百万円となり、減収減益となりました。

なお、当グループの報告セグメント事業別業績は次の通りです。

[ホームセンター事業]

ホームセンター事業においては、新型コロナ感染予防対策のための衛生用品など、日用品や家庭用品の動きは落ち着きつつありますが、ペット用品、植物・園芸用品などの販売は引き続き堅調に推移しております。原材料の高騰などによる商品価格の値上げにより客単価は上昇いたしましたが、値上による消費者心理への影響があり売上高、セグメント利益ともに減少いたしました。

これらの結果、ホームセンター事業の営業収益は、82億34百万円(前年同期比7.4%減)、セグメント利益は、3億43百万円(前年同期比4.8%減)となりました。

[WILD-1事業]

WILD-1事業においては、ネットショップのオンライン販売は、プライベート・ブランドを中心に前年同四半期実績を上回る水準で推移いたしました。しかしながら店舗販売においては、新型コロナウイルス感染症対策による行動制限緩和により消費者趣向が多様化した影響から、フィッシング関連用品やクロージングウエアなど一部商品群において着実な伸長の傾向は見受けられましたが、主力のキャンプ関連用品において前年同四半期を下回ることとなりました。また原材料費高騰や急激な円安の進行の影響により、粗利益率も低下いたしました。

これらの結果、WILD-1事業の営業収益は、61億69百万円(前年同期比7.6%減)、セグメント利益は、5億42百万円(前年同期比42.2%減)となりました。

「専門店事業〕

業務スーパー店舗では、地域のお祭りやイベントなどの業務需要が回復しつつあり、一般のお客様による利用においても継続的に増加しております。また、設備面において「業務スーパーインターパーク店(栃木県宇都宮市)」を2022年4月に出店いたしました。出店に係るイニシャルコストが発生しているものの、開店後の業績は、計画を大きく上回り、順調に推移しております。

オフハウス店舗では、新型コロナで落ち込んだ売上高が回復し前年同期に比べ堅調な回復が見られました。また、ネットモール(インターネットによる通信販売)に積極的に商品を出品することで売上高の確保に努めました。

これらの結果、専門店事業の営業収益は、48億92百万円(前年同期比6.4%増)、セグメント利益は、4億4百万円(前年同期比8.9%増)となりました。

「店舗開発事業]

店舗開発事業では、アミューズメント施設において、新型コロナによる外出控えで減少した客数が徐々に増加 に転じたことやプライズ(景品)ゲームの根強い人気などから業績の堅調な回復が見られました。

また、賃貸物件の物件数も安定してきており、一定の利益水準を確保しております。

これらの結果、店舗開発事業の営業収益は、1億83百万円(前年同期比3.2%増)、セグメント利益は、74百万円(前年同期比1.8%減)となりました。

(注) 第1四半期連結会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を適用しております。上記の連結業績数値は当該会計基準等を適用した後の数値となっております。 対前年同四半期増減率は、当該会計基準等適用前の2022年2月期業績と比較し増減率を計算しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、288億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億32百万円の増加となりました。主な要因としては、現金及び預金の減少8億50百万円の減少要因に対し、商品の増加7億53百万円、投資その他の資産の増加2億16百万円の増加要因によるものであります。

負債は、178億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ41百万円の増加となりました。主な要因としては、支払手形及び買掛金の減少2億11百万円、ポイント引当金の減少3億3百万円、社債の減少5億50百万円、長期借入金の減少5億2百万円の減少要因に対し、短期借入金の増加10億円、1年内返済予定の社債の増加5億円、契約負債の増加2億98百万円の増加要因によるものであります。

純資産は、110億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億90百万円の増加となりました。主な要因としては、配当金の支払83百万円、その他有価証券評価差額金の減少41百万円の減少要因に対し、資本剰余金の増加5億82百万円、自己株式の減少3億31百万円、当第2四半期連結累計期間において親会社株主に帰属する四半期純利益5億25百万円を計上したことによるものであります。この結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は38.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、当社の100%出資連結子会社である株式会社茨城カンセキ及び株式会社バーンを2023年2月1日付で吸収合併(簡易合併・略式合併)いたします。

2022年9月22日公表の「連結子会社の事業譲渡及び特別利益の計上並びに連結子会社2社の吸収合併(簡易合併・略式合併)に関するお知らせ」に記載のとおり、当社は、2023年2月期の期末決算より「非連結会社」になることに伴い、2023年2月期の業績予想を連結業績予想から個別業績予想へ移行しております。なお2022年10月7日に公表いたしました個別業績予想から変更はありません。

2023年2月期の個別業績予想(2022年3月1日~2023年2月28日)は、以下のとおりであります。

(%表示は、対前期)

| | 売」 | 上高 | 営業 | 利益 | 経常 | 利益 | 当期約 | 吨利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|----|--------|----|--------|----|-----|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円銭 |
| 通期 | 38, 440 | _ | 1, 390 | _ | 1, 330 | _ | 780 | _ | 110. 70 |

(注) 「収益認識に関する会計基準」 (企業会計基準第29号2020年3月31日) 等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前期増減率は記載しておりません。

※ 上記予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

| | 前連結会計年度 | 当第2四半期連結会計期間 |
|---------------|---------------|--------------|
| | (2022年2月28日) | (2022年8月31日) |
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2, 242, 365 | 1, 391, 41 |
| 売掛金 | 674, 278 | 677, 17 |
| 商品 | 6, 326, 313 | 7, 079, 49 |
| その他 | 412, 086 | 1, 567, 23 |
| 貸倒引当金 | △130 | △1: |
| 流動資産合計 | 9, 654, 914 | 10, 715, 19 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 3, 586, 828 | 3, 649, 1 |
| 土地 | 9, 417, 112 | 9, 417, 1 |
| その他(純額) | 658, 527 | 665, 3 |
| 有形固定資産合計 | 13, 662, 467 | 13, 731, 6 |
| 無形固定資産 | 548, 451 | 537, 0 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 1, 711, 251 | 1, 739, 9 |
| その他 | 1, 966, 193 | 2, 154, 1 |
| 貸倒引当金 | $\triangle 0$ | Δ |
| 投資その他の資産合計 | 3, 677, 445 | 3, 894, 1 |
| 固定資産合計 | 17, 888, 364 | 18, 162, 9 |
| 繰延資産 | 9, 678 | 7, 2 |
| 資産合計 | 27, 552, 957 | 28, 885, 4 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2, 875, 472 | 2, 664, 1 |
| 電子記録債務 | 1, 263, 576 | 1, 184, 4 |
| 短期借入金 | 1, 500, 000 | 2, 500, 0 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2, 078, 974 | 1, 927, 1 |
| 1年内償還予定の社債 | 100,000 | 600, 0 |
| 未払法人税等 | 363, 840 | 340, 2 |
| 契約負債 | · – | 298, 6 |
| ポイント引当金 | 308, 779 | 5, 1 |
| その他 | 756, 893 | 810, 1 |
| 流動負債合計 | 9, 247, 535 | 10, 329, 9 |
| 固定負債 | | <u> </u> |
| 社債 | 800, 000 | 250, 0 |
| 長期借入金 | 6, 390, 341 | 5, 887, 6 |
| 退職給付に係る負債 | 602, 214 | 569, 3 |
| 資産除去債務 | 210, 294 | 232, 6 |
| 長期預り敷金保証金 | 104, 501 | 104, 1 |
| その他 | 415, 245 | 437, 9 |
| 固定負債合計 | 8, 522, 596 | 7, 481, 7 |
| E/C/IN H FI | 17, 770, 132 | 17, 811, 6 |

| 1331 | 1.1. | | - | $\overline{}$ | ` |
|------|------|---|---|---------------|---|
| (単 | 477 | • | 千 | ш |) |

| | 前連結会計年度 (2022年2月28日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年8月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1, 926, 000 | 1, 926, 000 |
| 資本剰余金 | 1, 866, 434 | 2, 448, 680 |
| 利益剰余金 | 5, 506, 280 | 5, 919, 001 |
| 自己株式 | \triangle 721, 274 | △389, 287 |
| 株主資本合計 | 8, 577, 441 | 9, 904, 394 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1, 177, 429 | 1, 136, 320 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △2,826 | $\triangle 2,361$ |
| その他の包括利益累計額合計 | 1, 174, 602 | 1, 133, 959 |
| 新株予約権 | 30, 781 | 35, 371 |
| 純資産合計 | 9, 782, 825 | 11, 073, 725 |
| 負債純資産合計 | 27, 552, 957 | 28, 885, 421 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

| 前第2 四半期連結業計期間 (自 2021年3月1日) 第2 2021年3月3日日 至 2022年8月31日) 売上所価 19,967,579 19,223,913 売上原価 14,006,160 13,540,597 売上機利益 5,961,418 5,683,316 営業収入 387,727 268,432 営業収入 3,97,262 268,432 営業利益 販売費及び一般管理費 5,058,866 5,507,7,622 営業利益 受取利息 220 874,485 営業外収益 受取保险金 10,816 9,526 受取保険金 10,816 9,526 受取保険金 11,434 20 補助金収入 18,674 27,064 その他 その他 その他 その料しを計 を対事材 3,224 27,064 で数利を 管業外費用 を対事が対した。 12,425 23,799 を禁刑者を 管業外費用合計 5,673 70,478 経常利益 教別組 教別組 教別組 教別組 教別組 教別組 教別組 教別組 教別組 教別組 | | | (単位:千円) |
|---|------------------|--------------|--------------|
| 売上原価 14,006,160 13,540,597 売上終利益 5,961,418 5,683,316 営業収入 387,727 268,432 賃業終利益 6,349,146 5,951,748 販売費及び一般管理費 5,088,886 5,077,262 営業利益 1,290,259 874,485 営業外収益 220 166 受取利息 220 166 受取限息金 10,816 9,526 受取保険金 14,434 20 補助金収入 18,674 27,064 その他 3,244 7,335 営外財益合計 44,113 24 支払手数料 12,425 23,799 その他 3,844 4,878 営業外費用合計 58,735 70,478 経常利益 1,265,895 848,120 特別利益合計 6,077 - 特別利益合計 6,077 - 特別利益合計 6,077 - 特別利夫会計 6,503 1,506 投資有価証券売利損 6,507 - 特別利夫会計 6,503 1, | | (自 2021年3月1日 | (自 2022年3月1日 |
| 売上総利益 5,961,418 5,683,316 営業収入 387,727 268,432 営業利益 6,349,146 5,951,748 販売費及び一般管理費 5,058,886 5,077,262 営業利益 1,290,259 874,485 営業外収益 20 166 受取配息金 10,816 9,526 受取保険金 1,434 20 補助金収入 18,674 27,044 その他 3,224 7,335 賞業外収益合計 42,165 41,130 芝林費用 24,2465 41,800 支払利息 42,465 41,800 支払利息 42,465 43,800 支払利息 42,465 43,800 受業外費用合計 58,735 70,478 経常利益 6,077 -6 特別利益合計 6,077 -6 特別利益合計 6,077 -6 特別利益合計 6,507 -6 投資有価証券売却損 6,507 -6 投資有価証券売却損 40 -6 投資有価証券売却損 6,505 460 投資有価証券売却損 6,503 1,504 投資有価証券売却損 6,503 1,504 投資有価証券売却損 6,503 1,504 株別損失合計 6,503 1,504 株別債 20,605 | 売上高 | 19, 967, 579 | 19, 223, 913 |
| 営業収入 387,727 268,432 営業総利益 6,349,146 5,951,748 販売費及び一般管理費 5,058,866 5,077,262 営業利益 1,290,259 874,485 営業外収益 20 166 受取限息 20 166 受取保険金 1,434 20 補助金収入 18,674 27,064 その他 3,237 4,113 賞業外收益合計 34,371 41,180 支払利息 42,465 41,800 支払手数料 12,425 23,799 その他 3,844 4,878 営業外費用合計 5,758 74,788 営業外費用合計 6,077 - 経常利益 6,077 - 特別利益合計 6,077 - 特別利失 6,355 46 財務有価証券売却積 6,077 - 大股育価証券売却積 147 - 災害による損失 - 1,080 特別損失合計 6,553 1,500 株の 1,265,469 846,580 法人投資・副整額 449,787 288,608 法人投資・副整額 △30,610 320,655 四大銀 413,576 320,655 四大銀 413,576 320,655 四大銀 413,576 320,655 <td>売上原価</td> <td>14, 006, 160</td> <td>13, 540, 597</td> | 売上原価 | 14, 006, 160 | 13, 540, 597 |
| 営業総利益 6,349,146 5,951,748 販売費及び一般管理費 5,058,886 5,077,262 営業利益 1,290,259 874,485 営業外収益 20 166 受取利息 20 166 受取保険金 1,434 20 補助金収入 18,674 27,064 その他 3,234 7,335 営業外収益合計 34,371 41,130 支払利息 42,465 41,800 支払手数料 12,425 23,799 その他 3,844 4,878 営業外費用合計 58,735 70,478 経常利益 1,265,895 848,120 特別利益 6,077 -6 特別利益合計 1,07 -6 投資有価証券売却損 1,07 -6 投資有価証券売却損 1,07 -6 投資有価証券売期損 1,07 -6 投資有価証券売期損 1,07 -6 投資有価証券売期損 1,07 -6 投資有価証券売期損 1,08 -6 特別規令 -7 -1 -8 | 売上総利益 | 5, 961, 418 | 5, 683, 316 |
| 販売費及び一般管理費5,058,8865,077,262営業利益1,290,259874,485営業外収益20166受取配当金10,8169,526受取保険金1,43420補助金収入18,67427,064その他3,2247,335営業外収益合計34,37144,113営業外費用22,42532,799支払手数料12,42523,799その他3,8444,878営業外費用合計58,73570,478経常利益1,265,895848,120特別利益6,077-特別利益合計6,077-特別利益合計6,077-特別利益合計6,077-特別利益合計147-投資有価証券売却損147-災害による損失-1,080特別損失計計6,5531,540投金等調整前用表計判6,5531,540稅金等調整有限及び事業院1,265,469846,580法人稅、住民稅及び事業院449,787288,608法人稅等國難額2,36,210320,655四半期執利益43,576320,655四半期執利益43,576320,655四半期執利益43,576320,655四半期執利益43,576320,655四半期執利益43,576320,655四半期執利益43,576320,655四半期執利益43,576320,655四半期執利益435,762320,655四十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五 | 営業収入 | 387, 727 | 268, 432 |
| 営業外収益1,290,259874,485受取利息220166受取配当金10,8169,526受取保險金1,43420補助金収入18,67427,064その他3,2247,335賞業外収益合計34,37144,113實業外費用242,46541,800支払利息42,46541,800支払手数料12,42523,799その他3,8444,878営業外費用合計58,73570,478経常利益1,265,895848,120特別利益合計6,077-特別利益合計6,077-特別利益合計6,077-特別利益合計6,077-特別利益合計6,077-特別利益合計6,077-特別損失147-機管配差1,265,491,080特別損失合計6,5031,540機会網整額四半期純利益1,265,469846,580法人稅、住民稅及び事業稅449,787288,606法人稅、住民稅及び事業稅449,787288,606法人稅、住民稅及び事業稅436,21032,045法人稅、住民稅及び事業稅436,21032,045佐人稅等合計413,576320,655四半期純利益43,621320,655四半期純利益436,210320,655四半期純利益436,210320,655四半期純利益436,210320,655四半期純利益436,210320,655四十期純利益436,210320,655四十期純利益436,210320,655四十期純利益436,210320,655四十期純利益436,210320,655四十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五 | 営業総利益 | 6, 349, 146 | 5, 951, 748 |
| 営業外収益 220 166 受取配当金 10,816 9,526 受取保険金 1,434 20 補助金収入 18,674 27,064 その他 3,224 7,335 賞業外収益合計 34,371 44,180 支払利息 42,465 41,800 支払手数料 12,425 23,799 その他 3,844 4,878 営業外費用合計 58,735 70,478 経常利益 1,265,895 848,120 特別利益合計 6,077 - 特別租益合計 6,077 - 特別租益合計 6,077 - 特別担先合計 6,507 - 教育在証券売却益 6,077 - 特別担失合計 6,507 - 教育有価証券売却益 6,077 - 特別担失合計 6,507 - 教育有価証券売却損 6,507 - 教育有価証券売却損 6,507 - 教育有価証券売却損 6,507 - 教育主人名長夫 - 1,080 特別租金 6,503 1,540 税金等調整的四半規利 1,265,469 86,580 </td <td>販売費及び一般管理費</td> <td>5, 058, 886</td> <td>5, 077, 262</td> | 販売費及び一般管理費 | 5, 058, 886 | 5, 077, 262 |
| 受取利息220166受取配当金10,8169,526受取保険金1,43420補助金収入18,67427,064その他3,2247,335営業外収益合計34,37144,113営業外費用支払利息42,46541,800支払手数料12,42523,799その他3,8444,878営業外費用合計58,73570,478経常利益1,265,895848,120特別利益合計6,077-特別利益合計6,077-特別損失6,355460投資有価証券売却損147-災害による損失-1,080特別損失合計6,5031,540税金等調整前四半期純利益1,265,469846,580法人税、住民税及び事業税449,787288,608法人税等自計435,610320,655四半期純利益公6,21032,047法人税等自計413,576320,655四半期純利益413,576320,655四半期純利益851,892525,925 | 営業利益 | 1, 290, 259 | 874, 485 |
| 受取保険金10,8169,526受取保険金1,43420補助金収入18,67427,064その他3,2247,335営業外収益合計34,37144,113著外費用支払利息42,46541,800支払手数料12,42523,799その他3,8444,878営業外費用合計58,73570,478経常利益1,265,895848,120特別利益合計6,077-特別利益合計6,077-特別利益合計6,355460投資有価証券売却損147-災害による損失-1,080特別損失合計6,5031,540特別損失合計6,5031,540税金等調整前四半期純利益1,265,469846,580法人税、住民税及び事業税449,787288,608法人税、住民税及び事業税449,787288,608法人税等同整額△36,210320,655四半期純利益413,576320,655四半期純利益413,576320,655四半期純利益413,576320,655 | 営業外収益 | | |
| 受取保険金1,43420補助金収入18,67427,064その他3,2247,335営業外収益合計34,37144,113営業外費用大統利息42,46541,800支払利息42,46523,799その他3,8444,878営業外費用合計58,73570,478経営利益1,265,895848,120特別利益大災育価証券売却益6,077-特別利益合計6,077-特別損失6,077-財債失6,077-財債失147-災害による損失-1,080特別損失合計6,5031,540税金等調整前四半期純利益1,265,469846,580法人稅、住民稅及び事業稅449,787288,608法人稅、管計數額額公3,21032,047法人稅等計數額額公3,21032,045四半期純利益413,576320,655四半期純利益413,576320,655四半期純利益413,576320,655 | 受取利息 | 220 | 166 |
| 補助金収入18,67427,064その他3,2247,335営業外収益合計34,37144,113営業外費用大払利息42,46541,800支払手数料12,42523,799その他3,8444,878営業外費用合計58,73570,478経常利益1,265,895848,120特別利益合計6,077-特別損失5460直定資産除売却損6,355460投資有価証券売却損6,355460投資有価証券売却損147-災害による損失-1,080特別損失合計6,5031,540税金等調整前四半期純利益1,265,469846,580法人稅、住民稅及び事業稅449,787288,608法人稅等調整額△36,21032,047法人稅等調整額△36,21032,045四半期純利益413,576320,655四半期純利益413,576320,655四半期純利益413,576320,655 | 受取配当金 | 10, 816 | 9, 526 |
| その他3,2247,335営業外収益合計34,37144,113営業外費用大利息42,46541,800支払手数料12,42523,799その他3,8444,878営業外費用合計58,73570,478経常利益1,265,895848,120特別利益合計6,077-特別利益合計6,077-特別損失147-投資有価証券売却損6,355460投資有価証券売却損147-災害による損失-1,080特別損失合計6,5031,540税金等調整前四半期純利益1,265,469846,580法人稅、住民稅及び事業稅449,787288,608法人稅等調整額△36,21032,047法人稅等合計413,576320,655四半期純利益413,576320,655四半期純利益413,576320,655 | 受取保険金 | 1, 434 | 20 |
| 営業外収益合計34,37144,113営業外費用女払利息42,46541,800支払手数料12,42523,799その他3,8444,878営業外費用合計58,73570,478経常利益1,265,895848,120特別利益合計6,077-特別利益合計6,077-特別損失5460投資有価証券売却損6,355460投資有価証券売却損147-災害による損失-1,080特別損失合計6,5031,540税金等調整前四半期純利益1,265,469846,580法人稅、住民稅及び事業稅449,787288,608法人稅等調整額△36,21032,047法人稅等合計413,576320,655四半期純利益413,576320,655四半期純利益851,892525,925 | 補助金収入 | 18, 674 | 27, 064 |
| 営業外費用大払利息42,46541,800支払手数料12,42523,799その他3,8444,878営業外費用合計58,73570,478経常利益1,265,895848,120特別利益6,077-特別利益合計6,077-特別損失固定資産除売却損6,355460投資有価証券売却損147-災害による損失-1,080特別損失合計6,5031,540税金等調整前四半期純利益1,265,469846,580法人税、住民税及び事業税449,787288,608法人税等調整額△36,21032,047法人税等合計413,576320,655四半期純利益413,576320,655四半期純利益413,576320,655 | その他 | 3, 224 | 7, 335 |
| 支払利息42,46541,800支払手数料12,42523,799その他3,8444,878営業外費用合計58,73570,478経常利益1,265,895848,120特別利益 特別利益合計6,077-特別利益合計6,077-特別損失147-資育価証券売却損6,355460投資有価証券売却損147-災害による損失-1,080特別損失合計6,5031,540税金等調整前四半期純利益1,265,469846,580法人税、住民税及び事業税449,787288,608法人税等調整額△36,21032,047法人税等合計413,576320,655四半期純利益413,576320,655四半期純利益413,576320,655四半期純利益413,576320,655 | 営業外収益合計 | 34, 371 | 44, 113 |
| 支払手教料12,42523,799その他3,8444,878営業外費用合計58,73570,478経常利益1,265,895848,120特別利益特別利益合計6,077-特別利人会計6,077-特別損失147-固定資産除売却損6,355460投資有価証券売却損147-災害による損失-1,080特別損失合計6,5031,540税金等調整前四半期純利益1,265,469846,580法人税、住民税及び事業税449,787288,608法人税等調整額△36,21032,047法人税等合計413,576320,655四半期純利益851,892525,925 | 営業外費用 | | |
| その他3,8444,878営業外費用合計58,73570,478経常利益1,265,895848,120特別利益 特別利益合計6,077-特別損失6,077-固定資産除売却損6,355460投資有価証券売却損147-災害による損失-1,080特別損失合計6,5031,540税金等調整前四半期純利益1,265,469846,580法人税、住民税及び事業税449,787288,608法人税等調整額△36,21032,047法人税等合計413,576320,655四半期純利益851,892525,925 | 支払利息 | 42, 465 | 41, 800 |
| 営業外費用合計58,73570,478経常利益1,265,895848,120特別利益特別利益合計6,077-特別損失制定資産除売却損6,355460投資有価証券売却損147-災害による損失-1,080特別損失合計6,5031,540税金等調整前四半期純利益1,265,469846,580法人税、住民税及び事業税449,787288,608法人税等調整額△36,21032,047法人税等合計413,576320,655四半期純利益851,892525,925 | 支払手数料 | 12, 425 | 23, 799 |
| 経常利益1,265,895848,120特別利益6,077-特別利益合計6,077-特別損失日定資産除売却損6,355460投資有価証券売却損147-災害による損失-1,080特別損失合計6,5031,540税金等調整前四半期純利益1,265,469846,580法人税、住民税及び事業税449,787288,608法人税等調整額△36,21032,047法人税等合計413,576320,655四半期純利益851,892525,925 | その他 | 3, 844 | 4, 878 |
| 特別利益投資有価証券売却益6,077一特別利益合計6,077一特別損失固定資産除売却損6,355460投資有価証券売却損147一災害による損失一1,080特別損失合計6,5031,540税金等調整前四半期純利益1,265,469846,580法人税、住民税及び事業税449,787288,608法人税等調整額△36,21032,047法人税等合計413,576320,655四半期純利益851,892525,925 | 営業外費用合計 | 58, 735 | 70, 478 |
| 投資有価証券売却益6,077一特別利益合計6,077一特別損失日定資産除売却損6,355460投資有価証券売却損147一災害による損失一1,080特別損失合計6,5031,540税金等調整前四半期純利益1,265,469846,580法人税、住民税及び事業税449,787288,608法人税等調整額△36,21032,047法人税等合計413,576320,655四半期純利益851,892525,925 | 経常利益 | 1, 265, 895 | 848, 120 |
| 特別利益合計6,077一特別損失固定資産除売却損6,355460投資有価証券売却損147一災害による損失一1,080特別損失合計6,5031,540税金等調整前四半期純利益1,265,469846,580法人税、住民税及び事業税449,787288,608法人税等調整額△36,21032,047法人税等合計413,576320,655四半期純利益851,892525,925 | 特別利益 | | |
| 特別損失固定資産除売却損6,355460投資有価証券売却損147-災害による損失-1,080特別損失合計6,5031,540税金等調整前四半期純利益1,265,469846,580法人税、住民税及び事業税449,787288,608法人税等調整額△36,21032,047法人税等合計413,576320,655四半期純利益851,892525,925 | 投資有価証券売却益 | 6, 077 | - |
| 固定資産除売却損6,355460投資有価証券売却損147-災害による損失-1,080特別損失合計6,5031,540税金等調整前四半期純利益1,265,469846,580法人税、住民税及び事業税449,787288,608法人税等調整額△36,21032,047法人税等合計413,576320,655四半期純利益851,892525,925 | 特別利益合計 | 6, 077 | - |
| 投資有価証券売却損147一災害による損失-1,080特別損失合計6,5031,540税金等調整前四半期純利益1,265,469846,580法人税、住民税及び事業税449,787288,608法人税等調整額△36,21032,047法人税等合計413,576320,655四半期純利益851,892525,925 | 特別損失 | | |
| 災害による損失-1,080特別損失合計6,5031,540税金等調整前四半期純利益1,265,469846,580法人税、住民税及び事業税449,787288,608法人税等調整額△36,21032,047法人税等合計413,576320,655四半期純利益851,892525,925 | 固定資産除売却損 | 6, 355 | 460 |
| 特別損失合計6,5031,540税金等調整前四半期純利益1,265,469846,580法人税、住民税及び事業税449,787288,608法人税等調整額△36,21032,047法人税等合計413,576320,655四半期純利益851,892525,925 | 投資有価証券売却損 | 147 | - |
| 税金等調整前四半期純利益1,265,469846,580法人税、住民税及び事業税449,787288,608法人税等調整額△36,21032,047法人税等合計413,576320,655四半期純利益851,892525,925 | 災害による損失 | - | 1, 080 |
| 法人税、住民税及び事業税449,787288,608法人税等調整額△36,21032,047法人税等合計413,576320,655四半期純利益851,892525,925 | 特別損失合計 | 6, 503 | 1, 540 |
| 法人税等調整額△36,21032,047法人税等合計413,576320,655四半期純利益851,892525,925 | 税金等調整前四半期純利益 | 1, 265, 469 | 846, 580 |
| 法人税等調整額△36,21032,047法人税等合計413,576320,655四半期純利益851,892525,925 | 法人税、住民税及び事業税 | 449, 787 | 288, 608 |
| 四半期純利益 851,892 525,925 | 法人税等調整額 | △36, 210 | |
| | 法人税等合計 | 413, 576 | 320, 655 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 851,892 525,925 | 四半期純利益 | 851, 892 | 525, 925 |
| | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 851, 892 | 525, 925 |

四半期連結包括利益計算書 第2四半期連結累計期間

| | | (単位:千円) |
|-----------------|--------------------------|----------------------------|
| | 前第2四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日) |
| | 至 2021年8月31日) | 至 2022年8月31日) |
| 四半期純利益 | 851, 892 | 525, 925 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 429, 303 | △41, 108 |
| 退職給付に係る調整額 | 400 | 465 |
| その他の包括利益合計 | 429, 704 | △40, 643 |
| 四半期包括利益 | 1, 281, 597 | 485, 281 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1, 281, 597 | 485, 281 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日) | (単位:千円) 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 | | |
|--------------------------------------|---|---|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 王 2021年6月31日) | 至 2022年8月31日) | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1, 265, 469 | 846, 580 | | |
| 減価償却費 | 277, 416 | 263, 058 | | |
| 支払利息 | 42, 465 | 41,800 | | |
| 固定資産除売却損益 (△は益) | 6, 355 | 460 | | |
| 補助金収入 | △18, 674 | △27, 064 | | |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △5, 929 | _ | | |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | △398, 793 | △753, 860 | | |
| 前渡金の増減額(△は増加) | 3, 200 | △587, 676 | | |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 77, 842 | △2, 896 | | |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △89, 547 | △290, 491 | | |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △359, 437 | △48, 309 | | |
| 契約負債の増減額 (△は減少) | - | 255, 789 | | |
| その他 | △125, 401 | △180, 407 | | |
| 小計 | 674, 965 | △483, 016 | | |
| 利息及び配当金の受取額 | 11, 037 | 9, 692 | | |
| 利息の支払額 | △42, 305 | $\triangle 41,544$ | | |
| 補助金の受取額 | 16, 993 | 25, 049 | | |
| 法人税等の支払額 | △789, 161 | △312, 602 | | |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △128, 470 | △802, 421 | | |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △222, 400 | △174, 588 | | |
| 無形固定資産の取得による支出 | △17, 494 | $\triangle 6,993$ | | |
| 投資有価証券の取得による支出 | △1, 072 | $\triangle 242,448$ | | |
| 投資有価証券の売却による収入 | 16, 553 | - - | | |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △95, 238 | △51, 919 | | |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 43, 198 | 19, 300 | | |
| 預り保証金の返還による支出 | △3, 085 | △2, 180 | | |
| 預け金の預入による支出 | | △605, 393 | | |
| その他 | 2, 520 | △6, 504 | | |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △277, 018 | △1, 070, 727 | | |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 910 700 | 1 000 000 | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 318, 702 | 1,000,000 | | |
| 長期借入れによる収入 | 200, 000 | 500, 000 | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △1, 131, 344 | △1, 154, 494 | | |
| 社債の償還による支出 | △50, 000 | △50, 000 | | |
| 自己株式の取得による支出 | △78 | 014 026 | | |
| 自己株式の処分による収入 | 13 | 914, 232 | | |
| その他 財政活動によるキャッシュ・フロー | △184, 867 | △191, 876 | | |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー 田会及び日会同笠地に依る梅筥芝苑 | △847, 573 | 1, 017, 861 | | |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 現金及び現金同等物の増減額(ヘは減小) | Λ 1 252 054 | 4, 334 | | |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) 現金及び現金同等物の開業な真 | $\triangle 1, 253, 054$ | △850, 953 | | |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,770,287 | 2, 240, 365 | | |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1, 517, 233 | 1, 389, 412 | | |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

当社グループは、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。収益認識会計基準等の適用による主な変更点は以下のとおりです。

(1) 代理人取引に係る収益認識

消化仕入取引に係る収益やペットのトリミングサービス等について、従来は、顧客から受け取る対価の総額で収益を認識しておりましたが、顧客への財又はサービスの提供における役割(本人又は代理人)を判断した結果、総額から仕入先に対する支払額を差し引いた純額で収益を認識する方法に変更しております。

(2) ポイント制度に係る収益認識

当社は、顧客に対してカスタマー・ロイヤルティ・プログラムを提供しており、会員の購入金額に応じてポイントを付与し、利用されたポイント相当の財又はサービスの提供を行っております。従来は、付与したポイントの利用に備えるため、将来利用されると見込まれる額をポイント引当金として計上し、ポイント引当金繰入額を販売費及び一般管理費として計上しておりましたが、付与したポイントを履行義務として認識し、将来の失効見込等を考慮して算定された独立販売価格を基礎として取引価格の配分を行う方法に変更しております。

(3) 仕入先から受領している対価

従来、当社グループの物流センターに納品される商品等に関連して発生するフィー等について、仕入先から受け取る対価を営業収入として計上しておりましたが、商品等の仕入と当該フィー等に係る取引の関連性を総合的に勘案した結果、販売費及び一般管理費より控除する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従来の取り扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約については、新たな会計方針を遡及適用しておりません。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高が3億64百万円減少し、売上原価は4億2百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ21百万円増加しております。なお、利益剰余金の当期首残高は29百万円減少しております。また、1株当たり当期純利益は2円11銭増加しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、流動負債に表示していた「ポイント引当金」の一部は、第1四半期連結会計期間より「契約負債」に含めて表示することとしました。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる影響はありません。

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)

(新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症に関しての当社における影響は軽微なものとなりました。

当社においては、第2四半期以降の業績を勘案し、今後の業績において新型コロナウイルス感染症の影響が軽微なものとなるという仮定に基づき、繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損損失等に関する会計上の見積りを行っております。

なお、現時点で入手可能な情報に基づいて最善の見積を行っておりますが、今後の状況経過により影響が変化した場合には、当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

| | | | | | | | | | <u> </u> |
|------------------------|-------------|-------------|-------------|----------|--------------|---------|--------------|-----------|---------------|
| | 報告セグメント | | | | | その他 | 合計 | 調整額 | 四半期連 結損益計 |
| | ホームセン ター | WILD-1 | 専門店 | 店舗開発 | 計 | (注) 1 | 口印 | (注) 2 | 算書計上 額(注)3 |
| 営業収益 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への営業収益 | 8, 889, 454 | 6, 678, 399 | 4, 596, 393 | 177, 280 | 20, 341, 528 | 13, 778 | 20, 355, 306 | _ | 20, 355, 306 |
| セグメント間の内部 営業収益又は振替高 | _ | _ | _ | 6, 534 | 6, 534 | 28, 800 | 35, 334 | △35, 334 | _ |
| 計 | 8, 889, 454 | 6, 678, 399 | 4, 596, 393 | 183, 814 | 20, 348, 062 | 42, 578 | 20, 390, 640 | △35, 334 | 20, 355, 306 |
| セグメント利益 | 360, 744 | 939, 304 | 371, 264 | 75, 959 | 1, 747, 273 | 11, 037 | 1, 758, 311 | △468, 051 | 1, 290, 259 |

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び保険代理店事業等を含んでおります。
 - 2 セグメント利益の調整額 \triangle 468,051千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 \triangle 468,051千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年8月31日) 報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 | 合計 | 調整額 | 四半期連 結損益計 |
|------------------------|-------------|-------------|-------------|----------|--------------|---------|--------------|-----------|---------------|
| | ホームセン ター | WILD-1 | 専門店 | 店舗開発 | 1 | (注)1 | 口间 | (注) 2 | 算書計上 額(注)3 |
| 営業収益 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への営業収益 | 8, 234, 159 | 6, 169, 179 | 4, 892, 277 | 183, 032 | 19, 478, 649 | 13, 696 | 19, 492, 345 | _ | 19, 492, 345 |
| セグメント間の内部 営業収益又は振替高 | _ | _ | _ | 6, 534 | 6, 534 | 28, 800 | 35, 334 | △35, 334 | _ |
| ≅† | 8, 234, 159 | 6, 169, 179 | 4, 892, 277 | 189, 566 | 19, 485, 183 | 42, 496 | 19, 527, 679 | △35, 334 | 19, 492, 345 |
| セグメント利益 | 343, 584 | 542, 986 | 404, 217 | 74, 555 | 1, 365, 344 | 14, 741 | 1, 380, 085 | △505, 600 | 874, 485 |

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び保険代理店事業等を含んでおります。
 - 2 セグメント利益の調整額 \triangle 505,600千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 \triangle 505,600千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「ホームセンター」の営業収益は313,152千円減少、セグメント利益は12,266千円増加し、「WILD-1」の営業収益は56,056千円減少、セグメント利益は9,109千円増加し、「専門店」の営業収益は93,484千円減少、セグメント利益への影響はありません。